

### レスリング・全日本大学グレコローマン選手権

# 2位に3人 7階級で入賞



レスリングの文部科学大臣杯全日本大学グレコローマン選手権が10月14、15の両日、駒沢体育館で行われた。北村侑磨(経済4・玉名工高)が59kg級で2位、魚住彰吾(経済4・育英高)が66kg級で2位、与那覇竜太(経営3・浦添工高)が85kg級で2位、谷藤広基(経済4・池田高)が98kg級で3位のほか、71、75、80kg級でそれぞれ8位と、8階級中7階級で入賞。各階級にくまなく注目選手がそろってきているのが今回メダルを手にする要因となった。

専大は大学対抗で36点を獲得し3位となった。各階級で入賞した選手たち

### 漕艇・日本カヌースプリント選手権

# K-4 3位に入賞

日本カヌースプリント選手権(9月10、14日、石川県小松市・木場潟カヌー競技場)の男子K-4

三浦はレースを振り返り、「全国の舞台でどれだけ力を発揮できるか、という思いで大会に臨んだが関東とはレベルが違った。練習の成果を出しきることができ、満足のいくレースではあったものの、昨年以上という目標を達成できなかった」と悔しさをにじませた。

4(カヤック4人乗り)200m級で、荒木琢磨(商4・谷地高)、三浦渥生(経営3・安達高)、道下雅博(経営2・東郷高)、梶原一誠(文1・富士河口湖高)組が36秒042で3位に入賞した。

3位と確実に順位を上げている。しかし2位とは26点開いての3位。実力を発揮しきれない選手はたくさんいる。今後の個々の活躍で強い「専修」と呼ばれる日も近い。(斉藤葵・商2写真)

### ローラースケート・全日本学生選手権

# スピード部門 男女ともに優勝

全日本学生ローラースケート選手権が10月9日から11日まで、長野県千曲川リバーフロントスポーツセンターで行われ、専大は男女ともにスピード部門で優勝した。個人では男子3000m級で掃部関健太主将(経済4・原町高)が優勝、小野一輝(文4・佐渡高)が準優勝した。また女子3000m級では北村祐香里(経営4・釧路湖陵高)が優勝、徳丸春花(経済3・県立川崎高)が準優勝した。



▲ 試合前に勝利を誓う男子部員たち

トを切ると、リーグ戦無敗を続けていた拓大に初黒星をつけた。しかし、主力選手のけがもあり、終盤は結果を残すことができなかった。

チームとしては悔しい結果に終わったが、個人では藤中謙也主将(経営4・宇部商高)がベストスコアラー賞、高橋拓也(経済4・東亜学園高)はプロック賞に輝いた。今月末から始まる全日本大学バレーボール選手権ではリーグ戦の悔しさを前面に出し、大学の頂点を目指す。(飯塚恒成・文2)

### 箱根路遠し

予選会15位

10月17日、第92回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が、立川・国営昭和記念公園で行われた。専大は10時間16分29秒で総合15位となり、2年ぶりの本大会出場とはならなかった。

### 記録コーナー

- ◇ソフトテニス部
  - ▽関東学生秋季リーグ戦(10月10、11日) 5戦全勝11位
  - ▽入れ替え戦(10月17日) 専大3-2東洋大※2部復帰
- ◇卓球部
  - ▽全日本学生選抜選手権(11月28、29日) 名古屋市中区
  - ▽バスケットボール部
    - ▽全日本大学選手権(男子・女子)
    - ▽全日本大学選手権(男子・女子)
  - ◇バレーボール部
    - ▽全日本大学選手権(11月30日、12月6日) 天田区総合体育館ほか

### 野球・東都大学リーグ戦

# 春秋連覇を逃す

今春の東都大学野球リーグ戦を制し、秋季リーグ戦に連覇の期待がかかった専大野球部だったが、期待に応えることができなかった。

追われる立場となったことで秋季は研究され、苦戦を強いられることは必至。そのプレッシャーの中でいかに戦うかが連



▲ 来季も活躍が期待される伊與田(村田侑晟・文1)

覇のカギとなった。しかし、予想以上にマークは厳しく、結果は7勝6敗。勝ち点3で3位。本来ある4年次生が抜け、戦力低下は否めない。だが、森山恵佑(商3・星稜高)、伊與田一起(経営3・明徳義塾高)ら現3年次生を中心とした新チームが、来季へのスタートを切った。

「追われる立場から追う立場に」チームは一つになり、再び優勝を目指す。

### アーチェリー・関東学生オールラウンド大会

# 竹内優勝、木戸5位

関東学生アーチェリーオールラウンド大会(10月12日、横浜市・富岡総合公園アーチェリー場)が行われ、竹内悠真(経営3・越ヶ谷高)が優勝を果たした。また、木戸友輝(経営1・横浜高)が5位となった。

竹内の成績は1257点。中盤、風の影響もあり、目標の1300点を超えられなかったと悔しさを表す一方で、今大会最多の50射を10点的中させた竹内は「優勝できて本当にうれしい。」

### 6勝6敗3位

東都大学準硬式野球秋季リーグ戦が、8月29日から約2カ月間にわたる阿部拓磨(経営1・専

で行われた。専大は最終戦で東海大に接戦の末4-3で勝利。春季5位から立ち直り、6勝6敗で3位となった。

最終戦は苦しいスタートだった。二回表、先発した岡本和記(商2・金光学園高)が抑えた。(菅野啓輔・商1)

